

岩手県保健医療計画 素案 (R5. 8. 22 審議段階) からの見直し箇所及び見直しをおこなった理由

令和5年8月22日 第1回釜石・大槌地域保健医療推進会議で提示した素案に対して、見直しを行った箇所（下線及び見え消し箇所）	見直しをおこなった理由
<p>1 圏域の現状</p> <p>(2) 病床機能と在宅医療の需要について 病床機能（単位：床）令和4年度（2022）病床機能報告に修正</p> <p>2 圏域における取組の方向</p> <p>○ 東日本大震災津波により大きな被害を受けた当圏域は、災害公営住宅等恒久的な住宅へ移行した被災者の中には、転居に伴う生活環境の変化に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による生活様式の変化に伴う外出機会や活動量の減少により、心身の疲労、体力の低下などの健康面での課題が生じています。</p> <p>○ また、当圏域は県内でも高齢化率が高く、独居や老夫婦のみの高齢者世帯の増加、それに伴う生活習慣病や認知症の増加が懸念されており、います</p> <p>○ こうした状況を踏まえ、当圏域では、医療介護連携をはじめとする地域包括ケアの構築とともに、次の4つの課題に重点的に取り組みます。</p> <p>○ <u>なお、地域で安心して妊娠・出産・子育てができるよう、市町や関係機関等と連携し、妊産婦支援に取り組んでいきます。</u></p> <p>○ <u>さらに、なお、</u>新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえて、医療・検査体制、感染症患者の情報収集の体制などが課題となったことから、医療機関等との連携により、今後の新興・再興感染症の発生に備えた体制整備を進めていきます。</p> <p>(1) 脳血管疾患の課題と主な取組 〈主な取組〉 (脳卒中の予防)</p> <p>○ 住民等を対象とした健康づくり講座等健康チャレンジ教室やヘルスアップ教室（運動指導事業）のほか、市民公開講座の充実を図っていきます。</p>	<p>1 圏域の現状</p> <p>(2) 病床機能と在宅医療の需要について 病床機能について、最新の公表数値に訂正したものを。</p> <p>2 圏域における取組の方向 [修正なし]</p> <p>文章を調整</p> <p>文章を調整</p> <p>委員意見を踏まえて、妊産婦支援を追加</p> <p>文章を調整</p> <p>(1) 脳血管疾患の課題と主な取組 〈主な取組〉 (脳卒中の予防)</p> <p>御意見を踏まえ、実施事業の名称を見直すこととしたもの。</p>
備考 見直しを行う箇所は、下線の部分である。	